

第5回パソコン入カスピード認定試験 練習問題 (23.2.12)
【日本語部門】

このところ、安くておいしいB級グルメが注目されている。これ	30
は、地元の人に愛される地域の名物料理や郷土料理などのことだ。	60
身近で誰にでも親しまれる存在であることを表現するために、この	90
名前が付けられた。そして、その頭文字から、B-1グランプリと	120
いう名の大会が誕生した。	133
昨年9月、第5回大会が神奈川県厚木市で開催された。首都圏で	163
は初の大会であり、過去最多の46団体が出展し、大きなにぎわい	193
をみせた。大会期間中の総来場者数は、厚木市の人口のおよそ2倍	223
に相当する43万人を超えた。	238
開催地の厚木市は、第2回大会から「厚木シロコロ・ホルモン」	268
で参加し、第3回大会でグランプリを受賞した。その結果、関連す	298
る商品やキャラクターグッズが作られ、さらに歌までも登場した。	328
現在では、商品名が市の代名詞となっており、その影響力は絶大で	358
ある。この大会は、単なる祭典ではなく、経済効果も高く数十億円	388
を超えるイベントとなっている。	404
今大会の運営スタッフには、市民ボランティアによる約3500	434
人の協力があった。主催者側としては、当初2000人ほど集まれ	464
ばよいと予測していた。しかし、実際には予想を大幅に超える応募	494
があり、小学生から社会人、老人会までと幅広い年齢層の人たちが	524
集まった。参加したある高校生は「大会が無事に終わって嬉しい。	554
またボランティア活動に参加したい」と話した。	577
出展した団体は、すべてまちおこしのボランティアで、店舗とし	607
て営業を行っていない。彼らは、料理を通して地域のことを知り、	637
地元を足で運んで欲しいという願いから出展しているのである。売	667
り上げや経済効果といった面ばかり注目されているが、一番の目的	697
は町を元気にすることだ。	710
第5回大会グランプリを受賞したのは、山梨県甲府市の「甲府鳥	740
もつ煮」であった。早速、翌日から甲府市の店舗には、長い行列が	770
できたという。出展する地域も開催する地域も、元気になるような	800
大会であり続けることを願いたい。	816